

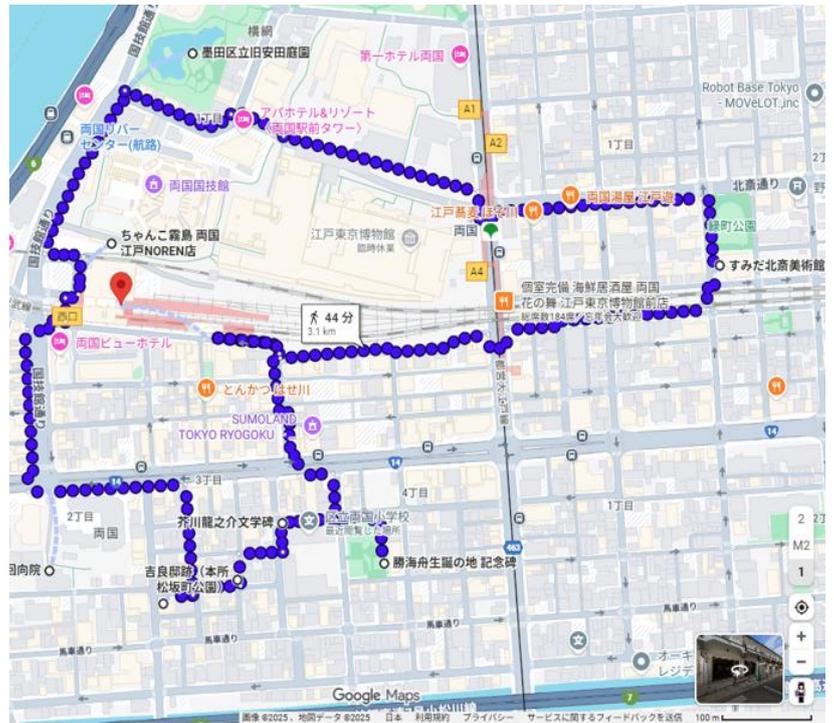
2026年2月6日(金)、「立春」が過ぎたばかりというのに、桜の開会時期の気温で、暑ささえ感じるほどの春の一日、「吉良邸跡」、「旧安田庭園」、「すみだ北斎美術館」などすみだ周辺のまちなか歩きをしてきました。

今回の参加者は12名の参加でした。

朝方は冷え込みましたが、昼間は15℃近くと気温も上がり絶好のハイキング日和でした。

勝海舟の生誕の地記念碑、忠臣蔵で有名な「吉良邸跡」、元禄年間に築造された「旧安田庭園」など巡り、最後に「北斎美術館」でゆっくり北斎の作品や歴史を学んできました。

コースは右図の青点線のルート



10:25 両国駅(東口)前にて朝のご挨拶とコースの概略案内



10:35 両国駅より10分ほどで勝海舟生誕の地記念碑(両国公園)に到着。



勝海舟の椅子に座るSさん

記念碑の背面には、「黒船来航」から「江戸城開城」までの「勝海舟幕末絵巻」がパネルで展示されていました。



10:45 両国小学校の北西角にある芥川龍之介「文学碑」碑には龍之介の自筆で代表作の一つ「杜子春」の一説が刻まれている。
 「——お前はもう仙人になりたいといふ望みはもってあまい。大金持ちになることは、元より愛想がつきた筈だ。ではお前はこれから後、何になつたら好いと思ふた。」

10:47 龍之介の文学碑の隣には、日露戦争で活躍した日本海軍の駆逐艦「不知火(しらぬい)」の錨が展示されていました。



10:50 吉良邸跡
 跡地の一部には上野介の像が展示されていた。

吉良邸跡: かつて2,550坪(8450㎡)の広大な敷地を持っていた吉良邸は、現在両国の住宅に囲まれた一画の約1/85の約33坪の小さな敷地に、本所松坂町公園として、わずかな名残が残されていました。



10:55 本所松坂町公園での一行



次の訪問地「回向院」へ向かう道には「鏡師中島伊勢住居跡」や（伊勢は幕府御用達の鏡師で後に葛飾北斎となる時太郎を養子にした人物）回向院の隣に「旧国技館跡」などの看板表示がありました。 11:15



11:20 力塚（相撲関係の石碑群）

11:25 鼠小僧の墓では、「石を削って粉を持ち帰るとご利益がある」という話、皆さん削っていました。



回向院： 明暦 3 年(1657)江戸史上最悪の惨事となった「ふりそで火事」の犠牲者を弔う為に建立された寺院。さまざまな災害や人災などの被害者、諸動物などが埋葬供養されている。天保 4 年(1833)に始まった大相撲の定場所興行の場としても賑わいを見せた。鼠小僧次郎吉の墓があることでも知られる。



11:35 回向院から
両国駅への通り
(国技館通り)の歩道
には、土俵入りの像
と有名な力士の手形
のレリーフがいくつ
もありました。



元大関「霧島」の経営する「ちゃんこ霧島」にて昼食
「一人ちゃんこ一昼御膳東一¥2200」をオーダー

11:40 両国駅構内の江戸 NOREN 街には、模擬
土俵があり、観光用の飾りではなく、日本相撲
協会が監修した正式サイズの模型とのこと。



11:45~12:50
ゆっくりと「ちゃんこ」料理を食べ、温まる



12:57 国技館前から旧安田庭園に向けて出発



水浴びをするスズメ三羽
人慣れしたスズメでした



13:15 旧安田庭園にて 集合写真



13:40 北斎美術館のめずらしい外観



14:50 北斎のすべてを見学した後、美術館外で
暫し休息



15:10 予定より10分ほど早く着き、両国駅にて
解散の挨拶

今回のハイキングは、歩行距離を短く、ゆとりのある計画としましたが、北斎記念館では少し時間を持って余した方もおられたようでした。

参加いただいた皆さま、大変お疲れ様でした。また、ご協力ありがとうございました。

次回は、3月6日(金)「狭山湖とトトロの森」ハイキングが美術工芸科の担当で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗